

「振り返り」の見取り

本校では、振り返りを書く際に、教師から「このようなことを書きましょう。」というような「視点を示す」ことはしません。視点を示さずとも、児童は大きく「自己診断」、
「捉え直し、味わい直し」、「思いや願い」の観点で書けるようになります。さらにそれを
6つの観点に分類して見取るようにします。



6つの観点で書くと、具体的にこのような振り返りとなります。

- (1) **理解の状況の自己診断**:「とてもよく分かった。なぜなら…。」
- (2) **取組の姿勢、態度の自己診断**:「～を最後までがんばった。」
- (3) **学びの過程の自己診断**:「はじめは分からなかったけれど、…。」
- (4) **理解の捉え直し**:「もっとよいやり方に気が付いた。それは…。」
- (5) **満足感・充実感等の味わい直し**:「あっという間で時間が短く感じた。なぜなら…。」
- (6) **次の学びへの期待、思いや願い**:「～をもっとやりたくなった。なぜなら…。」